

留学報告書



職場



寮でのイベント



プログラム修了記念

留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名	英文：Florida State University 和文：フロリダ州立大学
留学期間	2023年8月～2024年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	70万円
宿舍費（1か月あたり）	10万円
食費（1か月あたり）	6万円
通学費（1か月あたり）	0（寮から職場まで無料のバスを利用）万円
教科書代	0万円
渡航旅費	30万円
保険料	10万円
その他（ ）	万円
授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input type="checkbox"/> その他（ ）	

【フロリダ州立大学（タラハシー）滞在時】

滞在形態関連（FSU）

1) 種類

寮 アパート ホームステイ ルームシェア

2) 部屋の形態

個室 相部屋

学習・インターンシップについてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	Global Perspectives: Communication (Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	異文化間のコミュニケーションについて学ぶ授業です。月に一度三時間程度の ZOOM での講義と、課題によって成績がつけられます。ZOOM での講義では明治の参加者全員と一緒に受けます。セメスターの最後には四人一組のグループに分かれ、日米の文化の違いについて 10 分程度のプレゼンテーションを行います。私のグループは Love & Relationship というテーマのもと、日米での家族観や恋愛観の違いをアメリカ出身の子にインタビューをし、それをスライドにまとめて発表しました。他にもメイクや食文化について調べているグループもありました。授業では積極的な発言が求められます。授業外では、200～300 words 程度のレポートの提出が半年間で五回求められました。
履修した授業科目名の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

履修した授業科目名	Application of Communication Skills (Applied Intercultural Communication)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	コミュニケーションについて様々な角度から分析する授業です。一回二時間程度の対面の授業と、課題によって成績がつけられます。対面の授業は月に一度寮の教室に先生が来てくださって受講します。基本的には明治の学生のみですが、セメスターの最後の方は韓国の同じプログラムの参加者と受講しました。授業外では、カルチャーショックについて自身の経験や授業を踏まえたレポートと、オンライン上で韓国を受講生と意見交換をするディスカッションが課題としてだされていました。
履修した授業科目名の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

履修した授業科目名	Communication Internship (Intercultural Communication Practicum)
授業内容や試験、授業を受けた感想について	Disney でのインターンシップが単位として付与される授業です。各々の職場のリーダーから頂く評価、そして Final Report をもとに成績がつけられます。
履修した授業科目名の評価	<input type="checkbox"/> 非常に満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> どちらでもない <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 非常に不満

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	<p>もともとは北米か欧州に協定留学をしに行くことを考えていました。大学に入学し、自分の興味のある分野が決まっていなかったこと、大学で同世代の人と学術的な英語を学ぶよりも様々な世代と交流して実践的な英語を学びたかったこと、そして一度アメリカで働いてみたいという思いがあったため、最終的にはこのプログラムに出願しました。両親から留学費用はなるべく自分で払うように言われており、インターンシップで給与が支払われ留学費用を抑えることができる点も大きな魅力でした。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>リスニングを鍛えることです。オランダは世界中から人が集まるため、英語が多少話せなくても、理解しようとしてくれる人が多くスピーキングはできなくても何とかかなと思います。一方で、英語を聞き取り理解できないとそもそも会話に参加することができないので、出発前にある程度耳を慣らすことが必要だと感じました。</p>
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	<p>Disney College Program の公式 Instagram アカウントは、パークの様子やリゾートの様子、また寮でのイベントなども発信しており、プログラムに関する様々な情報を手に入れることができました。また同僚とは Facebook で連絡を取っていました。寮から Disney の関連施設までは無料のバスが出ていますが、それ以外の場所に行きたいときは Uber や Lyft などの配車サービスアプリを利用していました。</p>
大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)	<p>職場は同年代が多く話しやすかったです。また同僚の出身地もメキシコやイギリス、カナダ、ハイチ、スリランカ、中国、カンボジア、インドなどグローバルで、色々な話を聞いて面白かったです。特にフードの仕事ではチーム意識が強く分からないことは気軽に聞けたので良かったです。リーダーやコーディネーターも優しく仕事に関することだけではなくアメリカでの生活に関することも相談していました。</p>
滞在先の雰囲気	<p>Disney Program 参加者専用の寮に滞在していました。完成してから数年で新しくとても綺麗でした。寮は EAST とそこからバスで五分ほどの WEST に分かれています。どちらにも 24 時間対応のデスクがあり、住居関係で何か問題があればいつでも相談することができました。EAST には Disney のデスクがあり、Program に関する質問や職場で何か問題があれば相談することができます。またどちらにもジム・プール・卓球台・ビリヤード・BBQ コンロ・バスケットボールコートなどがあり、設備も充実していました。</p>
留学先における交友関係	<p>職場の同僚や、明治の参加者と遊ぶことが多かったです。退勤後にご飯を食べたり、パークで遊んだり、車を出してもらって出かけたりしました。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>クローズの作業が大変でした。College Program の参加者は、オフを申請することはできますが働きたい時間を選択することはできないため、クローズ作業を任されるが多かったです。私は日本では朝型の生活を送っていたため、夜遅くまで残るクローズの作業は個人的に辛かったです。また私はどちらのジョブでも無線機（インカム）を一人一台渡され使っていたのですが、音質が悪かったり音が途切れ途切れだったり無線上でコミュニケーションをとるのに苦労しまし</p>

	た。
留学先における学習、課題や試験	月に一回対面での授業、一・二週間に一本レポートや自分の意見を投稿するディスカッションが課されました。レポートもディスカッションもアプリでできるため移動中などに書いていました。どちらの授業も異文化間コミュニケーションやカルチャーショックなど、ディズニーでのインターンに関わりのある内容でした。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	シフトの後に同僚とご飯を食べたりしていました。また基本的に週に二日オフがあるので、パークを訪れたり、近郊のアウトレットやユニバーサルスタジオで遊んだりしました。また休暇申請が通った際にはアメリカ国内外を旅行しました。私はニューヨーク、カルフォルニア、カナダ、そしてマイアミを訪れました。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	世界最大級のリゾート地である Walt Disney World Resort で、世界各地から集まった同僚と働くことは、本当に貴重な経験です。自分の未熟さを痛感し、歯がゆい思いもたくさんしますが、ゲストの笑顔を見たとき、上司に褒めてもらった時は本当に嬉しくて頑張ってたよかったですと思いました。
就職活動について	就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。例えば、留学前や留学中の就職活動へ向けた準備や、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。 ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
	私はまだ就職活動を始めていませんが、この留学を通して自分の将来への展望が大きく変わりました。留学をする前は漠然と「日本よりもアメリカの方がすごい、将来はアメリカで働いて暮らしたい」と考えていました。しかし実際にアメリカで半年生活をしてみて、アメリカの良さを実感した一方で、日本の良さも再確認することができました。また、折角日本に興味のある人がいるのにも関わらず、なかなか日本に関する正しい情報が伝わっていない現状を目の当たりにしました。今はこの留学を通して、将来は旅行業などインバウンド関係の事業に関わり、アメリカの文化も日本の文化も尊重できる人、そして日本に興味のある人たちとのかけ橋になれるような存在になりたいと考えています。